



いなむら

# 稲村ひさお 道政だより

2011年 夏号

発行

稲村ひさお事務所  
砂川市晴見3条北10丁目9番4号  
TEL・FAX 0125-54-3385

## 安心・安全に暮らせる 地域づくりをめざして

4月に行われた北海道議会議員選挙から早くも4カ月が経過しました。多くの皆様のあたたかいご支援とご協力を賜り、再び道議会での活動の場を与えていただき、感謝の念に堪えません。

皆様のご期待に応えるためにも、1期4年間で培った経験をもとに積み残した課題、とりわけ、夕張市をはじめとする産炭地の振興、空知全体の市町村財政の確立、皆様のいのちに関わる地域医療の確立など、引き続き全力で取り組んでまいります。

さて、3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生しました。犠牲になられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

現在、民主党に対する支持率は低下していますが、今こそ日本全体が一致結束し、一日も早い復興や原発事故への対策を実現していくことが最大の使命といえます。私は、この震災により明らかとなった課題について、道議会ですらなる議論を進め、皆様方が安心・安全に暮らせる地域づくりをめざします。

今後の4年間も「空知に元気！道民に希望を！」をモットーに、「人と地域にやさしい政治」をめざし、地域の声をしっかりと道政に届けるよう全力を尽くします。変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、本格的な夏を迎えますが、体調管理には十分ご留意され、元気に夏をお過ごしください。



2期目も「はっきり発言！しっかり行動！」します

北海道議会議員 稲村 久 男

## 2011 稲村ひさおを囲む集い



8月20日（土）午後4:00～  
砂川市地域交流センターゆう  
会費 1,500円

皆様とお話できることを楽しみにしています。  
抽選会もありますので、ぜひお越しください。



主 催：稲村ひさおと明日の道政を拓く会  
T E L： 0125-54-3385



# 議会活動報告

## ■政策審議会 筆頭副会長に選任

5月13日より6日間、統一地方選挙後初となる臨時議会が開催されました。私が属する会派「民主党・道民連合」は37名でスタートし、その中で私は「政策審議会 筆頭副会長」に選任されました。また、私の所属委員会は次のとおりです。

- 建設委員会 理事
- 食と観光対策特別委員会 筆頭理事

## ■震災対策に関する質疑

この臨時議会において、道は東日本大震災の復旧対策に係る経費を補正予算として提案しましたが、私は会派を代表して、この補正予算を含めた道の震災対策に関する質疑を行いました。私にとって震災対策の質疑は3月の臨時総務委員会に続くものであり、今回も道内被災地の現地調査等を踏まえて地域から寄せられた要請に基づいて質問しました。主な項目を抜粋してご報告します。

### (1)道内の漁業被害対策

今回の補正予算の大半は道内でも大きな被害を受けた漁業被害に対するものですが、私は漁船の建造期間や漁期を睨み早期に予算執行すべきと訴えました。これに対して知事は、補正予算を活用し漁船や養殖施設の早期復旧に努めると答えました。

### (2)被災者の受け入れ支援

道は震災直後から市町村に対して住宅確保の状況を調査したり被災者支援策として借上避難所の開設経費などを予算措置しましたが、実際にはほとんど使われていません。避難生活が長期化する中、被災者

の意向も把握しながら積極的に受け入れに取り組むべきではないかと問いました。知事は、道内への自主避難者が1,200名を超えている状況などを説明したうえで、今後、避難者からも直接お話を聞いて、市町村や民間団体とも連携しながら避難者の受け入れ拡大に積極的に取り組む考えを示しました。

### (3)福島原発事故に対する認識と泊原発の今後

福島原発事故の深刻な状況は、時間が経つにつれて講じるべき対策が拡大しつつあり、国民の不安は膨らむばかりです。質問では、福島原発事故に対する知事の認識を問うとともに、泊原発の今後については福島原発の事態を踏まえ慎重に扱うべきと質しました。知事は、福島原発に関して原子力発電所の安全性確保は重要と繰り返しながらも、しっかりとした事故の検証を行う必要があるとの答弁にとどまりました。泊原発に関しても、安全確保に万全を期すため、今後、学識者の助言や地元4町村と協議し、道の考え方を整理していくと答え、明言を避けながら具体策を先送りした感が否めません。

原発行政は、目下、国を揺るがす最大の問題であり関心事でもあります。私は、今後も道の震災対策を含めて積極的な対応を求めていきたいと考えています。

## ■第2回定例会では政策審議に没頭

6月14日から7月8日までは第2回定例会が開催されました。私は直接質疑を行いませんでしたが、政策審議会筆頭副会長の立場から、代表質問づくりをはじめ全ての条例案や予算案などについて会派としての考え方をまとめることになり、議会中は政策審議に没頭しました。これまで重点課題としてきた地域医療や自治体財政のみならず、全ての政策分野でより深い見識を求められますので、今後も自己研鑽を重ねていく誓いをあらためて胸に宿しながら、定例会を終えました。

## 稲村ひさおの活動アルバム Activity record



2期目も感謝を忘れません



子どもたちに明るい未来を



安心・安全の社会を



各地のメーデーに参加



道議会の出席ラジヤンON!



政策審議室の様子



研修先の障害者施設にて